

まだまだ募集中!第11回にいがたボケ1(ワン)スリッパ卓球大会

エントリー締切迫る 申込期限:令和2年1月31日(金)



昨年の大会での試合の様子

- 日 時: 令和2年3月1日(日) 午前9時~午後4時(予定)
選手開場: 午前8時~ 受付: 午前8時30分~午前8時50分
- 会 場: 小須戸体育館(新潟市秋葉区横川浜526-2)
<お願い> 駐車台数に限りがあるため、できるだけ乗り合わせておいでください。
- 参加資格: 小学生以上 特に卓球を初めてされる方は大歓迎です。
- 競技種目: 【個人Aクラス】 男女。卓球の各種大会に参加している方が対象のクラス。(女性には各1セット2点のハンディ有り)
【個人Bクラス】 一般で卓球の大会に出していない方。ラージボールを使った大会に参加した事が無い方。
【小学生クラス】 小学1年生から6年生までの方。
【混合ダブルスAクラス】 男女ともに卓球の各種大会に参加している方。
【混合ダブルスBクラス】 男女ともに卓球の各種大会に参加していない方。
※混合ダブルスA、Bクラスとも原則、2人1組でお申し込みください。
【親子ラリー】 小学生と親もしくは祖父母の2人1組でお申し込みください。3分間で、ラリーがどれだけ続くかを競います。
- 試合方法: ○セルロイド製のラージボールを使用。
○競技は11本先取3セットマッチで行う。
- 表 彰: 各種目の3位までを表彰する。
- 参加費: 参加費は1種目 高校生以上:500円 小中学生:300円
親子ラリー:1組500円 ※特製ラケットは無料でお貸しします。
- 主 催: にいがたボケ1スリッパ卓球大会実行委員会
- 共 催: 小須戸コミュニティ協議会 山の手コミュニティ協議会 秋葉区スポーツフィールド運営グループ 小須戸地区スポーツ振興会 小須戸地区公民館
- 申 込: 小須戸武道館 事務局 (秋葉区スポーツフィールド運営グループ)
〒956-0121 新潟市秋葉区横川浜239番地1 TEL・FAX 0250-38-2121
- 問 合 せ: 実行委員長 吉田芳夫 TEL 090-7846-5316

※初めて参加される方、興味のある方へ
令和2年1月~2月の間、「ボケ1大会」に向けて練習ができます!
★日 時 令和2年1/14(火)、1/28(火)、2/11(火)、2/25(火) 午後7時~9時
★会 場 小須戸体育館
★対 象 小学生~大人 (小学生は保護者同伴)
★持ち物 内履き タオル 飲み物 (ラケットはお貸しします)
※参加費無料、申し込み不要、当日直接会場へ

※申込チラシは小須戸地区公民館・小須戸まちづくりセンター小須戸地区ふれあい会館・小須戸体育館など区内主要施設に設置されています。また、右記コードからもダウンロードできます。



こすど地区公民館報

発行/編集 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp

知っていますか? 「小須戸まちづくりセンター」の利用について

平成27年4月に「小須戸まちづくりセンター」が開設され、もうすぐ5年を迎えますが、皆さんはその利用手続きなどについてご存知でしょうか?
「利用はしてるんだけど手続きについてはサークルの代表がしているので分からない。」「前から利用して来たんだけど手続きが難しそう...」などの声にお応えして、今号では、「小須戸まちづくりセンター」(以下「まちセン」)の利用手続きなどについてご紹介したいと思います。



渡辺 安規さん (小須戸)

- Q1: 「まちセン」って何するところ?
A1: 地域における主体的なまちづくりを推進するため、地域のみなが集い、活動し、交流する目的の施設です。具体的には
①自治活動やコミュニティ活動などの地域活動の拠点の場
②レクリエーション活動、福祉・ボランティア活動など住民の地域活動を支援する場
③伝統文化、教養活動などの公民館活動を実施する場として、皆様から活用されています。

- Q2: 「まちセン」にはどんなお部屋がありますか? また、「利用料金」ってどうなっているの?
A2: 「調理室」や「和室」など利用用途や広さに応じたさまざまな部屋があります。また、利用料金については時間帯や部屋の広さ、利用する団体(「一般団体」と「登録団体(Q4参照)») で異なります。具体的には下表をご覧ください。

(一般団体利用)						
階	区分	面積	午前 9:00~12:00	午後1 13:00~15:00	午後2 15:30~17:30	夜間 18:30~21:30
1階	保育室(※1)	38.3㎡	900円	600円	600円	900円
	和室1	29.7㎡(15畳)	600円	400円	400円	600円
	和室2	29.7㎡(15畳)	600円	400円	400円	600円
2階	研修室1	64.2㎡	900円	600円	600円	900円
	研修室2	64.2㎡	900円	600円	600円	900円
	調理室	45.6㎡	1,300円	900円	900円	1,300円
	活動室1	31.1㎡	600円	400円	400円	600円
	活動室2	25.4㎡	600円	400円	400円	600円
3階	多目的ホール1	121.3㎡	2,400円	1,600円	1,600円	2,400円
	多目的ホール2	121.3㎡	2,400円	1,600円	1,600円	2,400円
	会議室1	59.0㎡	900円	600円	600円	900円
	会議室2	59.0㎡	900円	600円	600円	900円

(登録団体利用)						
階	区分	面積	午前 9:00~12:00	午後1 13:00~15:00	午後2 15:30~17:30	夜間 18:30~21:30
1階	保育室(※1)	38.3㎡	600円	400円	400円	600円
	和室1	29.7㎡(15畳)	300円	200円	200円	300円
	和室2	29.7㎡(15畳)	300円	200円	200円	300円
2階	研修室1	64.2㎡	600円	400円	400円	600円
	研修室2	64.2㎡	600円	400円	400円	600円
	調理室	45.6㎡	700円	500円	500円	700円
	活動室1	31.1㎡	300円	200円	200円	300円
	活動室2	25.4㎡	300円	200円	200円	300円
3階	多目的ホール1	121.3㎡	1,000円	700円	700円	1,000円
	多目的ホール2	121.3㎡	1,000円	700円	700円	1,000円
	会議室1	59.0㎡	600円	400円	400円	600円
	会議室2	59.0㎡	600円	400円	400円	600円

以下のコードより「まちセン」の詳細(利用にあたっての注意事項など)や「申請書類」のダウンロードができますので、ご参照ください。



小須戸コミ協HP



新潟市HP

- Q3: 利用するにはどうしたらいいの?
A3: ①「利用申請書」を「まちセン」の受付に提出し許可を受けて下さい。
・利用申込は利用したい月の3か月前の1日から、先着順に受け付けます。
・なお、部屋の申込に重複のあった場合は、抽選を行います。
・受付時間は午前9時~午後9時半です。
・設備や備品を使用したい場合は「利用申込書」に記入してください。
②利用当日は「利用申請書」を「まちセン」の受付に提示し、カギを受け取ってください。
③利用終了後は、清掃、机・椅子の整理・施錠・消灯を確認し、「利用報告書」を記入し、カギを受付に返却してください。

さいごに「まちセン」の指定管理者「小須戸コミュニティ協議会」の藤田センター長から一言
この「まちセン」の利用手続き特集号をお読みいただき、具体的な利用の仕方や申請書類の書き方などご不明な点がございましたら、「小須戸まちづくりセンター」(TEL: 25-7069)までお問い合わせいただくか、直接ご来館ください。今後もより敷居を低く、またより一層、地域の皆様からお気軽に利用してもらえる施設にしていきたいと思っております。

- Q4: 料金の安い「登録団体」の利用ってどうやったらできるの?
A4: 事前に「利用団体登録申請書」を「まちセン」の受付に提出する必要があります。
登録にあたっては、次の5つの要件すべてを満たすことが条件となります。
申請から登録までは、書類に不備が無いことを前提で2週間ほどかかります。

◆登録要件◆

- ①構成員が5名以上で代表者が明確である団体
 - ②活動の自主的運営・自主財源の確保が行われている団体
 - ③広く地域住民に開かれた団体
 - ④小須戸コミ協、山の手コミ協、小須戸地区公民館のいずれかの事業を理解し、活動に協力する団体
 - ⑤営利・宗教・政治活動を目的としない団体
- 添付書類として「利用登録団体名簿」、「団体の会則」、「団体の予算書(決算書)」などが必要です。また、一度出したから終わりということではなく、年度ごとに提出が必要となります。

私は、一昨年・昨年と小須戸祭りについて、幾多の邂逅(かいこう)と共に心温もる僥倖(きようへい)もございました。その出来事とは、小須戸町で生まれ育ち(大学時代の6年間を除く)町内で仕事も始めてから約四十年にもなりましたが、一昨年まで町内の行事に参加する事は無く、お祭り見物をする事もありませんでした。ところが、一昨年に順番が回り、自治会の役員となり、祭りの燈籠と伴に道沿を練り歩くことになったのです。

するとどうでしょう。見知っている懐かしい顔・顔。何十年ぶりの同級生達や旧知の方々に遭遇し、福な時が得られたので、色々な事柄の遠い記憶が揺り起こされ追ってこるのです。こうして旧交を温め合

う事によって、その都度私は大変有意義な一時に浸ることができたのでした。家族・仕事・趣味も大事ですが、地域の方々のあつらひと繋りも大切にしたいなあと思ふ。

第14回 小須戸地区囲碁・将棋大会結果

11月3日(文化の日)に毎年恒例の「第14回小須戸地区囲碁・将棋大会」が小須戸まちづくりセンターで行われました。



囲碁の部の対局の様子



将棋の部の対局の様子

参加者は囲碁の部8名・将棋の部18名の計26名による熱戦が繰り広げられました。

結果は次のとおりです。

囲碁の部

- ☆優勝 帆苅 徹雄 (阿賀野市保田)
- ☆準優勝 吉田 和幸 (横川浜)
- ☆第3位 萩原 隆 (南区鯉沼)



将棋の部一般

- ☆優勝 佐藤 源一 (南区臼井)
- ☆準優勝 川瀬 三男 (小須戸)
- ☆第3位 森田 一成 (小須戸)



将棋の部初心者の部

- ☆優勝 竹内 昇 (西蒲区和納)
- ☆準優勝 小林 悠人 (秋葉区荻島)
- ☆第3位 中村 海里 (江南区梅見台)

(敬省略)



古代文字 甲冑文です。何度書いても思いどおりにはいきません。今回もまた、まあいいか。それでは駄目ですね。

入選【書道部門】

坂井 清龍さん(小須戸) 「七言二句」



日頃の思いを作品にしました。これからも自分の言葉で作品を作っていきたいと思います。

奨励賞【書道部門】

五十田 順さん(小須戸) 「しっかりと生きる」

「第48回県芸術美術展(芸展)」(県美術家連盟、新潟日報社主催)が新潟市中央区の県民会館で開催されました。日本画、工芸、書道、洋画、彫刻、写真の6部門の入賞作品等、1099点が展示されました。小須戸地区関係では奨励賞1名と入選3名の方が受賞されました。

入選【写真部門】

風間ヤヨエさん(新保) 「幻想の朝」



冬の松原湖。早朝の柔らかな光に霧が湧いて幻想的な風景を撮ることが出来ました。寒いけど氷結する広大な湖上を歩ける冬が大好きです。無理せず好きな事を楽しんで行きたいです。



祝賀御列の儀や大嘗祭も営まれて、はや令和二年。安寧な時代であるよう祈るばかりです。万葉集を繙き梅花色の画仙紙で書きました。

「令和2年度より文芸欄が変わります。」

令和2年4月15日発行の「こすど地区公民館報4月号」より、秋葉区健康福祉課提供による「健康ひとロメモ」の連載が始まります。それに伴い、誌面スペースの関係上、文芸欄の枠サイズが変更となります。つきましては掲載のルールも下記のとおり変更となりますので、ご理解の程よろしくお祈りいたします。

変更事項

- ・令和2年3月号まで 投稿されたものは無条件で掲載されます。
- ・令和2年4月号より 俳句・川柳・短歌合わせて21作品まで。ルビ(読み仮名)は読めないもののみ付します。投稿が21作品を超えた場合は先着での掲載となります。

俳句・川柳・短歌募集

題材は自由(お一人一句または一首)。住所氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、1月20日(月)までに小須戸地区公民館へ。(締切厳守)

短歌

色褪せず赤き鼻緒の桐ノ下駄
嫁入り道具位置を譲らず
戦争の思い出いまだ去りやらぬ
昭和の吾れも令和を生きなむ
シクラメン窓辺に置いて日ざし浴び
ピンクの色が際立ちて見ゆ
傷を負った猫の包帯洗濯し
小春日和に赤とんぼとまり

久保みね子
高橋キヨ
玲 泉
こみけ

俳句

青空に白鳥乱舞越の里
よく見えて佐渡の島山日蓮忌
千柿の影の遊べる日和かな
入道を貫きし人菊大輪
古本をめくればしをり銀杏の葉
一人居の閨を明るく冬の月
老眼鏡息吹きかけて秋夜長
節太き父の指や冬囲ひ
生かされて米寿勤労感謝の日
ていねいにゆつくり生きたや去年今年

吉田松子
間野えり
佐久間久子
本多玲子
丸山紀子
吉澤文子
熊倉ひろむ
風間幸子
中野太浪
馬場綾子
会田修
保科栄二郎
保科志枝
能登としお
増井都留
奉和崇

文芸欄

楽しかったよ「もちつき&ニュースポーツ体験」

12月1日(日)、「小須戸地区ふれあい会館」において、子どもたちにもちつき体験やニュースポーツ(カーリンコン)を通じて創造力や自立心、他人との信頼関係を築くための協調性を養うことを目的とし、小須戸地区公民館と連携して、児童やその保護者、未就学児のきょうだいやコミ協職員など総勢53人で事業を実施しました。

まず始めにもちつきを行いました。子どもたちが杵の取り合いになる程、盛況でした。

続いて、ついたもちにあんこやきな粉・みたらしの味をつけている間、カーリンコン(氷上で行うカーリングの室内版)のトーナメント戦を行い、ディスクが弾けるたびに大きな歓声が上がると、試合が盛り上がりました。

最後に自分たちでついたもちを食べながら、家族や友達同士でもちつきの体験や試合の様子を振り返っていました。終了後のアンケートでは「来年もまた来たい!」との声が多数寄せられました。



初めはぎこちなかったのですが、カーリンコンはディスクの行方テンポよくつけるようになりました。つきたてのお餅はみんなでおいしく戴きました。

山の手コミュニケーション協議会

きらめきサポート「地域の宝探しと秋葉ひなめぐり」プロジェクト 2月1日(土)~3月8日(日)

今年は小須戸地区だけでなく新津地区でもひなめぐりを実施します。小須戸地区では約30店舗のお店でひな飾りを飾り、新津の商店街では約20店舗で個性豊かな貴重なお宝を展示します。

小須戸・新津のメイン会場6か所のうち3か所を回ると粗品がもらえるスタンプラリーも実施します。詳細は後日配布のチラシをご覧ください。

◆おりがみひなござりワークショップ

1月19日(日) 10:30~12:00
会場: 町屋ギャラリー 薩摩屋
参加費: 100円 申し込み: 不要

◆フルートコンサート

1月26日(日) 11:00~12:00
演奏: 西山直子(フルート)
会場: 町屋ギャラリー 薩摩屋
参加費: 無料 申し込み: 不要

◆着物を着てまち歩き

2月9日(日)、2月22日(土)、2月23日(日)、2月24日(月・祝)
参加費: 1,500円(弁当、お茶菓子、雛の町家入館料含む)
着物レンタル料: 別途3,000円(税別)
申し込み: 小須戸まちづくりセンター TEL:25-7069



おりがみでひなござりを作ります

小須戸コミュニケーション協議会

編集委員の つぶやき

グレタ・トゥーンベリさん、「大人が私の未来を台無しにしようとしているので『気候変動のための学校ストライキ』をしている」として活動が報道されています。一方で日本政府は石炭火力の輸出等問題で世界中のひんしゅくを買っています。待った無しの気候変動危機に対し、私達も省エネ行動に取り組み、食い止めましょう。